

令和4年度 大田区立道塚小学校 学校経営デザイン(学校経営方針)

校長 大場寿子

おおた教育ビジョン

- ビジョンⅠ 社会の変化に主体的に対応し、未来を創る力
- ビジョンⅡ 「知・徳・体」の調和のとれた成長、豊かな人間性の涵養
- ビジョンⅢ 意欲にあふれ、個性と可能性を最大限に伸ばす学びの場の創出
- ビジョンⅣ 地域の特色を生かし、家庭・地域が連携・協働して子どもを育てる

本校の学校教育目標

- すすんで学び よく遊べ**
- ◎ すすんで学ぶ子 知
 - ◎ 心ゆたかな子 徳
 - ◎ たくましい子 体

目指す学校像

- ①児童にとって達成感・自信・よさをみつけてくれる学校
- ②教師にとって、プロ意識とチームで取り組める学校
- ③保護者にとって、信頼でき相談できる学校
- ④地域にとって、伝統の上にあたなが繋がりが生まれる学校

令和4年度の重点目標

すすんでの意思の育成

- ◎全国小学校生活科・総合的な学習教育研究協議会11月11日発表
- ◎未来ものづくり科と連動した地域力を活かした実践発表
- ◎コミュニティスクールとして開かれ教育課程の実現
- ◎個別最適化の学びへの挑戦「漢字指を全体で共有
- ◎クラス全員一人ひとりに「〇〇では君が一番」を見つける応援週間の実施
- ◎すすんで自分の生活学級学年学校をよくしようとする実践力を育てる
- ◎対話.発表.討議スタイルの授業へ授業改善そのためのスキル向上

目指す児童像

- ◎人に役立つという志をもち、課題解決を楽しむ子
- ◎地域に愛着をもち、試行錯誤の学びを楽しむ子
- ◎友達の考えのよさに気付き、協働して表現・発信・発想することを楽しむ子

目指す教師像

- ◎学び続ける教師こそ教師である
- ①サービスの厳正
- ②人権尊重
- ③児童一人ひとりの可能性を引き出すこと
- ④児童に愛情と使命感と責任感をもつこと
- ⑤組織の中で大人仕事ができること
- ⑥組織に対する尊敬と感謝をもつこと
- ⑦OJTを推進し日々業務の改善・改良を努力すること

目標実現のための具体的方策 ◎の項目は特に重視

学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ◎確かな学力 算数科単元において85%の定着を80%にする ◎全校大会発表に向けて、探究学習スタイルで深い学びの実現 ◎開かれた教育課程 学年年間15人のゲストティチャーと出会う授業 ◎Society5.0時代 毎日一度はタブレットPCを活用する ◎自主性を引き出せる学級会活動の充実 ◎朝読書の時間の充:図書館の活用 ◎言語活動の充実 1年間10篇の詩の暗唱 ◎1日1回は書く自分の考えを書く・振り返りを書くことを習慣化する ◎地域へ発信・コンクールへの応募・学校HPでも発信 	<ul style="list-style-type: none"> ◎総合的な表現の場としての3学期の活動の充実 ◎算数科5展開の少人数算数の充実 ◎教科担任制への移行準備4・6年理科専科 学年内交換授業 ◎一人一鉢栽培活動で粘り強い学習態度の育成 ◎外部人材を活用したクラブ活動への挑戦 ◎日常的外国語教育や国際理解教育の推進 ◎配慮を要する児童へ専門指導員との連携 ◎水曜日のタブレット活用家庭学習と自学ノートづくりの推進 ◎自学教室火・土曜教室の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ◎校庭・体育館・屋上での運動の日常化、習慣化による体力向上 ◎全校運動会に向けた保護者連携を含め改善 ◎体力テスト1種目改善改革の充実と実道塚記録の継続 ◎自ら健康管理への啓発と手洗いの徹底 ◎大田区小学校駅伝大会への参加と体育時間内の持久走 ◎学校医との連携による健康教育 ◎早寝早起き朝ごはんへの年間3回の取り組みと励まし ◎朝の校庭解放(火・木) 放課後の校庭解放 ◎6年間の継続指導の取り組みに向けたカードの統一化と体育OJTの実施
	<ul style="list-style-type: none"> ◎相手の思いやる行動「相手のいやがることはしない」の合言葉の浸透 ◎いじめの早期発見と対応の徹底と下校までの指導シス大田区いじめ対策条例に基づく組織的対応 ◎学校・保護者・地域と連携 挨拶は自分からの推進 ◎一人ひとりの違いを意識した学級手段づくり ヘルプスキルの出し方と手助けサポートルームとの連携 ◎「人権週間」学年の取り組みの継続 ◎道塚スタンダードを基にした規範意識 ◎ノーチャイムによる時間厳守意識 ◎「子どもの心サポート月間(6, 11月)」 ◎土曜授業を活用した道徳の授業 ◎自分の命は自分で守る 避難訓練の大事さ 	<ul style="list-style-type: none"> ◎異学年交流(縦割り班・委員会活動・クラブ活動) ◎全クラス月2回 先生とみんなで遊ぼうの実施 ◎放課後分担制清掃で責任もった仕事体験 ◎目標明確な遠足と校外学習の意図的計画的な実施 ◎学年内イベントや学年間交流の充実 ◎作品充実の「展覧会」の実施と地域と連携 ◎キャリアパスポートの活用 ◎PTAとも連携子どもまつり発想力とものづくりとの連携 	
地域・外部機関連携	<ul style="list-style-type: none"> ◎学校広報(便り・サイトなど)による理解者・支援者拡大 ◎保護者との密接な連絡・相談 担任の報告・記録と学校体制づくり ◎PTAボランティア制への変換期における連携・協働 月一度会議の継続 ◎学校協働地域支援本部の月一度の会議の継続 ◎地域図書館関係者と学校図書館との合同連携会議 ◎土曜ワークショップなど協力者合同会議 ◎夏のわくわく教室への講師募集・教室開催にむけての広報活動 ◎青少年対策委員会との合同運動会の実施 ◎副籍交流や幼保連携のための交流授業の拡大 ◎子供家庭支援センター・サポートピア・児童相談所などのケース会議の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ◎個別適正化を意識した教育活動への転換期 自分で課題を選択する力の育成 ◎一斉授業内での個別指導 教員の資質能力の向上 ◎合理的配慮と関係機関と連携強化 ◎在籍学級とサポートルームの目標のすり合わせの徹底 ◎Sの会の適切な進行と有意義な情報交換 ◎特別支援教育に関する道塚小スタンダードの構築 ◎スクールカウンセラーによる全児童との面談の実施 伝える力、相談する力の育成 	
	<ul style="list-style-type: none"> ◎能力向上を目指した若手の学年主任配置 ◎校内研究 OJTとしての学年主任会と若手研修会計画的実施 ◎学年会の充実的实施と振り返り・課題への共同対応 ◎「安心・安全」な教育活動の実現のための日常的な見回り ◎勤務事故「0」を順守働き方改革 19時終了シフトづくり 	<ul style="list-style-type: none"> ◎特別支援教育 ◎学校運営 	